

9. 労働時間と労働配分

(1) 飼料生産労働時間

注) 「労働力区分」の空欄には常雇男女、臨時雇男女の区分を記入する。

作物名 (作付面積)	労働力 区分		耕 起 ~ 播 種				肥 培 管 理				収 穫 ・ 運 搬				サイ レ ー ジ ・ 乾 草 調 製				そ の 他		計
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
()	家族	男																			
		女																			
()	家族	男																			
		女																			
()	家族	男																			
		女																			
()	家族	男																			
		女																			
()	家族	男																			
		女																			
()	家族	男																			
		女																			
合計 (面積① a)																				②	

作業別時間計

耕起 播種	肥培 管理	収穫 運搬	調製	その他
----------	----------	----------	----	-----

飼料作付延面積10a当
たり飼料生産労働時間 $\text{⑨} = \text{②} / \text{①} \times 10$

経産牛1頭当たり年間
飼料生産労働時間 $\text{⑩} = \text{②} / 8 P \text{⑫}$

合 計	家 族	男③	女④
	常 雇	男⑤	女⑥
	臨 時	男⑦	女⑧

()

(2) 飼養管理、販売・一般管理労働時間

区分	作業の種類	労働力の区分	時間																	1日当たり時間計	年間計									
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			10								
飼養 常 作 業																														
			管	作業の種類	労働力の区分	作業の内容・回数その他																	1日当たり時間計	年間計						
						その他	ふん尿処理	敷料搬出入																						
			販売・一般管理	生産管理	その他																									

注1) 生産管理労働時間には、記録記帳、技術修得のための研修、生産に欠かせない集会出席等の時間を計上する。
 注2) ヘルパー利用については、臨時雇に記入。

(3) 繁閑の構成

区分	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下	極繁	普通	閑	極閑	
																	繁閑の構成
繁閑の理由																	

(4) 労働時間と労働費

区分	年間総労働時間	労賃単価	年間労働費	期間内労働費
飼料生産・飼養管理	家族計	②	⑮	⑱
	常雇計	③	⑮	⑲
	臨時雇計	④	⑰	⑳
	計	⑤		
	家族計	⑥		㉑
販売・一般管理	常雇計	⑦		㉒
	臨時雇計	⑧		㉓
	計	⑨		
	家族計	⑩		㉔
その他	常雇計	⑪		㉕
	臨時雇計	⑫		㉖
	計	⑬		
	合計	⑭	⑤+⑨+⑬	

区分	年間総労働時間
飼養管理労働時間	①

労働力員数

家族 ⑰ 人 = (②+⑥+⑩) / 2, 200時間

雇用 ⑳ 人 = (③+④+⑦+⑧+⑪+⑫) / 2, 200時間

経産牛1頭当たり年間飼養管理労働時間 ㉑ 時間 = ① / 8 P ㉑

経産牛1頭当たり年間総労働時間 ㉒ 時間 = ⑭ / 8 P ㉒

労働力1人当たり経産牛飼養頭数 ㉓ 頭 = 8 P ㉓ / (⑰+⑳)

家族労働力1人当たり経産牛飼養頭数 ㉔ 頭 = 8 P ㉔ / ⑰

()